令和６（2024）年度卒業生の学修成果・満足度調査

本調査は、本学の学生を対象に実施しているアンケート形式の調査である。【学修成果に関する自己評価】と【短大生活の満足度・充実度】に関して、5段階で調査している。

令和６（2024）年度卒業生の調査結果は、下記の通りである。

（１）実施期間

令和６年１月６日（月）～2月21日（金）

（２）実施方法

各学科で回答期間を設定し、Ｗｅｂシラバス上で回答させている。

（３）対象者

令和６（2023）年度卒業生（全学科）　262名

（４）回答者数

学　　科	令和６（2024）年度 卒業生		
	学生数	回答者数	回答率
食物栄養学科	58名	58名	100%
幼児教育学科	84名	63名	75.0%
経営情報学科	88名	77名	87.5%
健康福祉学科	23名	17名	73.9%
専攻科食物栄養専攻	9名	9名	100%
合　　計	**262名**	**224名**	**85.4%**

（5）本学における学修成果のとらえ方

本学では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)として、次の 5 つの力を身につけることを全学的な教育目標としています。

① 実践の土台となる「専門的知識・技能」
② 実践を支える「思考力・判断力・表現力」
③ 生涯学び続け成長するための「主体的に学ぶ力」
④ 他者を尊重し、多様な人々と共に共通の目標の実現に貢献できる「協働力」
⑤ 健全で豊かな「人間性」

この「5 つの力」に対応して、「学力の三要素」を考慮した「5 つの基準」((L01) 知識・理解, (L02) 技能, (L03) 思考力・判断力・表現力、(L04) 関心・意欲・態度, (L05) 人間性・社会性) を設定し、この「5 つの基準」別に各学科・各授業科目で育成する具体的な資質・能力 (「学修成果」) を明示しています。さらに、「学修成果」の全学的な共通のベンチマークとして、「5 つの基準」に対応させた「17 の具体的な資質・能力」を規定して、「学修成果」の到達度・成長度を把握しています。

「5つの力」（全学DP）・「学修成果」の「5つの基準」・「17の具体的な資質・能力」

（DP）育成する人材像 身に付けるべき「5つの力」	「学修成果」の 「5つの基準」	身に付けるべき 「17の具体的な資質・能力」	「21世紀型能力」 （NIER）
1 実践の土台となる「専門的知識・技能」	（LO1） 知識・理解	① 幅広い教養・一般常識 ② 専門分野の基礎的な知識	【基礎力】 （基礎的リテラシー）
	（LO2） 技能	③ 専門分野での実践に必要な技術・技能 ④ PCや情報機器を操作する力 ⑤ 分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力 ⑥ 分かりやすく文章にまとめる力	
2 実践を支える「思考力・判断力・表現力」	（LO3） 思考力・判断力・表現力	⑦ 問題点・課題を発見して、論理的に問題・課題を解決できる力	【思考力】 （認知スキル）
3 生涯学び続け成長するための「主体的に学ぶ力」	（LO4） 関心・意欲・態度	⑧ 自分の適性や能力を把握する力 ⑨ 自学自習する力・習慣 ⑩ 自分で目標を設定し、計画的に行動する力 ⑪ ねばり強さ・持続力・集中力 ⑫ チャレンジ精神 ⑬ 自己効力感や自信・自己肯定感	【実践力】 （社会的リテラシー）
4 他者を尊重し多様な人々と共に共通の目標の実現に貢献できる「協働力」 5 健全で豊かな「人間性」	（LO5） 人間性・社会性	⑭ 多様な価値観・考えを持つ人々の理解と尊重 ⑮ 社会的責任の自覚と高い倫理観 ⑯ 地域や社会に貢献する意識 ⑰ 協働して共通の目標の実現に貢献する力	

「学修成果」の可視化手段・方法

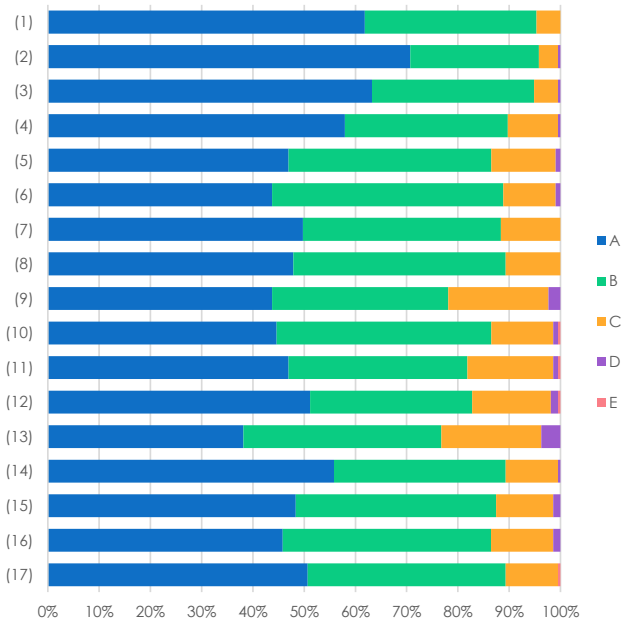
【成績評価／授業アンケート】
◆学修成果別成績評価他
◆学修成果別到達度自己評価他
◀【（各授業科目）ルーブリック】

【新入生アンケート／学修行動・生活調査／第三者アンケート】
◆「成長度」・「到達度」自己評価他
◆「社会的通用性」・「到達度」評価他

2023年度入学2年後期　「学修行動・生活調査」結果

Ⅰ．「学修成果」に関する自己評価

問1 入学した時点と比べて、能力や知識はどのように変化しましたか。
(1) 幅広い教養・一般常識
(2) 専門分野の基礎的な知識
(3) 専門分野での実践に必要な技術・技能
(4) パソコンや情報機器を操作する力
(5) 自分の考えを分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力
(6) 自分の知識や考えを分かりやすく文章にまとめる力
(7) 問題点・課題を発見して、論理的に問題・課題を解決できる力
(8) 自分の適性や能力を把握する力
(9) 自学自習する力・習慣
(10) 自分で目標を設定し、計画的に行動する力
(11) ねばり強さ・持続力・集中力
(12) チャレンジ精神
(13) 自己効力感や自信・自己肯定感を持つ
(14) 多様な価値観・考えを持つ人々を理解し尊重する
(15) 自らの社会的責任を自覚し高い倫理観を持つ
(16) 地域や社会に貢献する意識
(17) 多様な人々と協働して共通の目標の実現に貢献する力



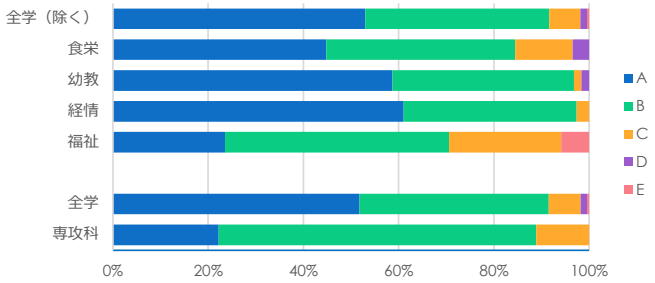
【選択肢】

A. 大いに増した　　D. 減った
B. 増した　　E. 大いに減った
C. 変化なし

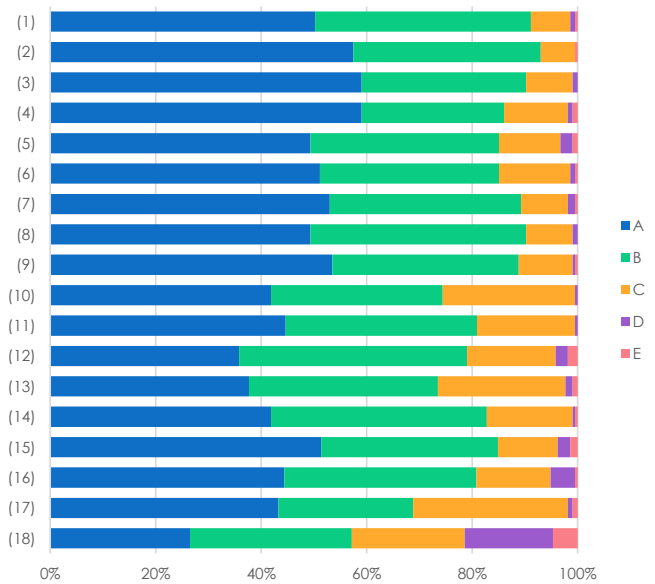
問2 本学に在学して、どの程度満足していますか。

【選択肢】

A. とても満足　　D. 不満
B. 満足　　E. とても不満
C. どちらともいえない



問3 本学での次の各事項に関して、どの程度満足していますか。
(1) 教養科目の授業
(2) 専門科目の授業
(3) 資格・免許の取得
(4) 友人や仲間との出会い
(5) 教職員との出会い
(6) 担任の学生支援全般
(7) 学科教職員からの学修支援（履修や成績、単位取得に関する説明・アドバイスを含む）
(8) 学務課の支援サービス
(9) 就職支援センターの支援サービス
(10) 保健室・学生相談室の支援サービス
(11) 図書館の支援サービス
(12) 学校行事（学外研修・大学祭・球技大会など）
(13) 課外活動（クラブ・サークル活動、学生会活動など）
(14) ボランティア活動への支援サービス
(15) 学生食堂・売店のサービス
(16) 大学の施設・設備全般
(17) 奨学金など学費援助の制度
(18) 通学の便（バスや駐車場の利便性）



【選択肢】

A. とても満足　　D. 不満
B. 満足　　E. とても不満
C. どちらともいえない